教育事務所だより 第11号

# が休め風

栃木県教育委員会事務局河内教育事務所 平成23年2月22日発行責任者村上雅之

# 新教育課程の全面実施に向けて

小学校では平成23年度から,中学校では平成24年度から,新学習指導要領が全面実施となります。改定の趣旨や改善内容をふまえた円滑な実施が重要となります。



# 全面実施に向けてチェックしてみましょう!



基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指す指導計画になっているか。 言語活動等の充実を図り、思考力・判断力・表現力等を育む指導計画になって いるか。

学習意欲を高めたり、学習習慣を確立したりするように努めているか。

評価規準を生かし、評価と指導の一体化に努めているか。

移行措置における指導漏れがないか。

道徳教育の指導体制を整備し、指導案や資料等を共有しているか。

特別活動では,各学校で評価の観点を設定しているか。

総合的な学習の時間は、探究的な単元計画になっているか。

すべての学年で指導する「体つくり運動」をより一層充実し,指導内容の明確化・体系化を図った計画になっているか。

小学校外国語活動では,コミュニケーション能力の素地を養う指導計画になっているか。

……など

以上のような点は、チェック項目の一例ですが、円滑な全面実施ができるように各学校で 準備をお願いします。

# 今、求められる力を高める総合的な学習の時間

総合的な学習の時間は、思考力・判断力・表現力等が求められる「知識基盤社会」の時代において、ますます重要な役割を果たすものです。新学習指導要領全面実施にあたり、他の教科・領域が評価に力点を置いている動きの中でも、総合的な学習の時間については、目標を達成するための内容の充実と適切な実施が求められています。

22年11月に文部科学省より指導資料として「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」が出されました。小学校編・中学校編ともに、第1編では総合的な学習の時間の基本的な考え方や探究的な学習活動、体制づくりについて述べられています。第2編では「総合的な学習の時間スタートガイド」として全体計画、年間指導計画および単元計画の作成について、具体例や多くの実践事例をあげながら作成手順に沿って解説しています。総合的な学習の時間の充実に役立つ一冊です。是非ご活用ください。



紹介した資料につきましては、まだ学校へは配布されておりません。文部科学省のHPよりダウンロ

ードできます。http://www.mext.go.jp/a\_menu/shotou/sougou/main14\_a2.htm

# 人権教育の推進 - 宇都宮市立桜小学校の取組 -

平成 22・23 年度文部科学省「人権教育研究指定校」の指定を受け、「自他のよさを認め合 い、ともに生きる心をはぐくむ児童の育成」のテーマのもと、研究を推進しています。

### 研究の取組

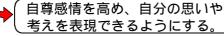
学校の教育活動全体での取組



児童が相互に関わる場を設定し、 自他を大切にする心を育てる。

- ・異年齢での集団活動
- ·児童会活動
- ・各学級でのほめほめフレンド活動
- ・さくらカードの活用 等

人権感覚を高める授業の工夫



- ・聞きあう活動を取り入れた授業実践
- ・自尊感情を育てるための工夫等

家庭・地域社会と連携した取組



人権に配慮した環境を整え啓発 活動を行い、人権意識を高める。

- ・学年だよりを活用した啓発
- ・ホームページの「人権コーナー」
- ・家庭・地域との交流 等



児童会活動(背中渡り大会)で、ともに運 動することの楽しさを体験することで、級 友と心を通わせ、他を思いやる気持ちを育 てています。



人権コーナーに よる啓発や教育 環境の整備を行 っています。

桜小学校での取組の一例を紹介させていただきました が、これらの成果を参考にしながら、各学校でも人権教育の更なる充実を目指していただけれ ばと思います。(研究物は、桜小学校へお問い合せください。)

# 児童・生徒の豊かな情操や創造性を養うために ~ 文化・芸術体験活動をとおして~



県教委では児童・生徒の豊かな情操や創造性を養うために、学校で文化芸術活動を体験させる取 組を行っています。

#### 清原北小学校



【児童と劇団員の共演】 演劇に参加し、劇団員さんとと もに、自ら演じることを体験し ました。

#### 明治小学校



【ドレミの歌大合唱】 オペラ歌手の歌に感動し、一緒 に「ドレミの歌」を楽しく合唱しま した。



【狂言体験】 狂言独特の発声や所作を体験 し、日本の伝統芸能に触れまし た。

県教委では次年度も、同様の取組を行います。各市町教委をとおして募集いたしますが、募集が 終了している事業もありますのでお問い合せください。なお、年度途中に追加募集のある事業もあ りますので、その際は文書でお知らせします。

本紙についてのご意見ご感想をお待ちしております: E-Mail kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp